

おがまち

日奈久ニュース

ふるさと日奈久の創造に向けて

「みんなと未来を語る市政懇談会IN日奈久」開催

10月31日（水）に中村市長を始め八代市各部長出席のもと、市政懇談会が開催されました。会場の日奈久コミュニティセンターには日奈久住民約40名が参加し、市政についての説明に耳を傾けると共に、積極的な質問が展開されました。



中村市長より市政についての説明

神社イベント広場の利用促進など、個々の観光施設の充実・広報等を含め、日奈久住民の活性化の取組の後押しをしていきたい。

日奈久温泉の景観を残すことが一番大事だ。危険箇所の改善もしながら、新たな日奈久温泉をPRしていかなければならない。

Q3、人口減少についての市の対策について。

答 市全体でも毎年、年間約950人程度減少している。特に若者の流出が顕著である。若者定着について総合計画の中でも重点事業と捉えている。近隣の町と連携し、企業誘致の推進や地場企業の育成など雇用拡大の取組を進めている。

Q4、日奈久は高齢化が進み、高齢者は買い物等にも大変苦労をしていることについて。

次、これから建設予定の新庁舎の姿が映像で紹介されました。その後、住民からの質問や意見が出されました。その内容と回答は、およそ次の通りです。

Q1、保寿寮の横の空き地の活用について。

答 日奈久地域のために活用する用地として売却する予定である。問合せはあったが応募がなく、平成29年度からは、インターネットでも募集を行っている。

Q2、日奈久温泉街の活性化について。

答 和のまちづくり整備事業や温泉



市当局からの答弁

進め、料金も上限200円と設定した。また、移動販売等民間の力も借りながら、対応していきたい。



日奈久住民からの質問が続く

Q5、人口減少に伴い空き家が増加して危険性も高まっている。市への苦情の件数、空き家対策、解体への補助について。

答 危険な家屋については、所有者に適切な維持管理をしてもらうよう文書で通知している。日奈久校区はこれまでに20件の相談があり、7軒は解体された。解体費用の3分の2、上限60万円の助成を行っている。

Q6、個人情報保護の対策について。

答 日奈久の団体への補助金の流れについて。「ばんべい湯前」と「いこいの広場」にトイレの設置をお願いしたい。

答 市政協力員には、その地域の世帯台帳を届けているが、それは、災害や緊急事態発生時の住民の安全確保のためである。今回の個人情報の漏洩については、地元の神社からの依頼で、厄入りや還暦等を迎える人のための照会であった。しかし、これは目的外使用ということで、市政協力員には改善を求めている。

各団体への補助金については、担当課に個別に問い合わせたい。トイレの設置については、要望として受け取り、検討させていただきたい。

平成30年12月号
(第112号)
発行者
日奈久住民自治会

日奈久の人口
(10月末現在)
男1234人
女1492人
計2726人
(21年末3444人)

「ありがとう」が行き交うまち 日奈久
身近な人に「ありがとう」愛する日奈久に「ありがとう」訪れる人に「ありがとう」

たい。これからも日奈久に住んでいく方々の生の声を届けていただくと大変参考になる。

Q7、日奈久温泉駅のトイレの改修について。肥薩おれんじ鉄道の駅でも他の自治体では、市が改修している。どうやって出来るかという方向で、検討して欲しい。

答 要望として肥薩おれんじ鉄道に伝え、ともに検討していきたい。

Q8、ゆめ倉庫の横の入り江を埋め立てて、駐車場にするについて。

答 あの入江は、浜町の雨水ポンプ場や国道3号線の路面排水等の流入場所である。ここは軟弱地盤で沈下が激しく、莫大な事業費が必要になる。さらに国の許可にかなりの時間が必要である。結論として入り江の埋め立ては、大変難しいと考えている。ゆめ倉庫の駐車場は、駐車枠を引き直して、12台だったのを28台駐車できるようにした。

Q9、市には事前に質問を出してあるが、時間の関係で打ち切られるのは、今後ないようにしてもらいたい。

答 今後この意見を尊重して、このような事がないように気を付ける。

ながらスマホは事故のもと

市内一斉調査実施

11月12日（月）の16時から1時間、日奈久コミセン前とマルシヨク日奈久店前の路上で、市内一斉のながらスマホの調査を実施した。調査が行われました。婦人会より5名、交通指導員4名が担当しました。スマホ携帯をしながら自転車や歩行者が、前不注意となり大変危険です。それによる事



雨の中調査を実施

これからの年末にかけて、交通量が増える上に、慌ただしくなります。お互いに、交通事故防止に努めましょう。

12月の行事から

5日（水）「お互いさまの日」
31日（月）第10回火流の彩
温泉神社 灯籠設置作業10:00～
点火作業20:00～

平成31年1月元旦
町内対抗駅伝大会（予定）

——住民自治会関係会議等——

会場：日奈久コミセン
13日（木）市政協力員例会13:30
17日（月）運営委員会17:00
18日（火）広報委員会19:00

八代市サッカー協会から、平成30年度湯の街日奈久シニアサッカー大会支援謝礼寄付金（3万円）が、住民自治会へ送られました。

婦人会だより

10月26日（金）午後、老人会や婦人会も参加して、小・中学校クリーン作戦が行われました。

開始直前になって、小雨が降ったり止んだりの生憎の天気になり、小学生は不参加となりました。中学生はやる気満々、4つのコースに分かれてゴミ拾いを行いました。雨のため、時間短縮での実施でしたが、いろんな種類のゴミがたくさん集まりました。先生から、ゴミを見つけたら進んで拾うようにとの話がありました。婦人会から参加いただいた20名の皆さん、ご協力ありがとうございました。

婦人会からのお知らせ

平成37年三社詣りのご案内

平成31年も三社詣りで、さわやかにスタートしませんか。
◆日時 平成31年1月9日（水）
◆行き先 佐賀方面
◆参加費 一人 5500円
多数の方のご参加を詳しくは、婦人会役員へお尋ねください。

故の未然防止のための調査です。

あいにくの雨で、通る人は50名程度でした。歩きスマホは2名でした。しかし傘をさして自転車を運転される方がおられました。これは違法です。また自転車道の斜め横断で、車とぶつかりそうになった方もおられました。危険ですので、絶対止めましょう。

住民自治会
運営委から

11月16日に開催された運営委員会の協議内容の中から、記事になかった主な内容をお知らせします。

○町内連絡委員会

・12月5日に第1回住民参加型の「お互いさまの日」が開催される。高齢化が進む中、お互いに支え合う活動を行った後、ゆめ倉庫で話し合う取組である。

・八代と天草を結ぶ橋の実現に向けた署名をお願いしたい。

・津森小学校遭難の碑広場の献花台を新しい物に変える予定。

○生活環境部会

・遭難の碑広場の除草の協力を感謝。

・新開堤防の路肩の草刈りを山本一樹さんご夫婦が実施された。

○事務局

・敬愛会東町広場の借用の受付窓口は、住民自治会になった。

・コミセン玄関に額縁等を吊すルールを設置した。

・どんどこは1月12日予定（雨天中止）

・「火流の彩」を実施。ご協力を。

(広告欄)

日奈久おもてなし隊活躍 第9回湯の街日奈久 シニアサッカーフェスティバル2018開催

11月3日(土)、4日(日)、日奈久ドリームランド(シー・湯・遊)において開催された、「シニアサッカーフェスティバル」は第9回目を迎え、年齢を感じさせない熱戦が展開されました。一方、歓迎レセプションや二日目の昼食準備など日奈久おもてなし隊が活躍しました。

今年は、ねりんピックの日程と重なったものの、それでも14チーム(70代3チーム、60代4チーム、40代7チーム)180人近い選手の参加で開催されました。最高齢は、熊本市から参加の中村さん82歳でした。

3日の歓迎レセプションは、日奈久ゆめ倉庫で開催され、コップののろろそくの明かりが、歓迎するよう揺らめいていました。参加者はめいめいに、用意されたおにぎりや刺身、焼き肉、ちくわ、ラーメンを味わっていました。その後ラフォーテ盛り上がりしました。

また、2日目は、婦人会よりの昼食



婦人会のご飯と豚汁は大好評でした

古(いにしえ)の熊本 装飾古墳「斉公開」秋

装飾古墳は、全国に800余りあり、九州に最も多く存在し、特に熊本は多いとのこと。今回は県内13の装飾古墳が10月27日・28日、に「斉公開」されました。田の川内第一古墳は、27日のみの公開で、県内外から40人の来観者がありました。



県内外から多数の参観者がありました

27日に訪れた九州大学考古学部の学生3人、遠く宮城県から東北学院大学の学生1人、さらに和歌山県の考古学芸員2人に会うことがで

きました。学生たちは、「今回公開される全てを見て回りたい」と話してくれました。また、「他の県古墳群を回ったが、これほどの装飾は見ることがない」と、興奮冷めやらぬ様子の東北学院大学の女性は、何度も入って写真を撮っていました。

和歌山県の学芸員も10分以上も古墳内で観察されていて、外に出ては熊本県の学芸員と長い話をしています。

「この古墳は全国でも少なく行政と地域住民の皆さんで守っていただろう」と話して帰りました。八代市の学芸員も、「模様や色彩が残っており、見学もしやすい素晴らしい古墳」と話していました。

「命の大切さ」を語り継ぐ 津森で慰霊祭、いのちの日学校集会開催

11月5日(月)、益城町津森では、日奈久遭難慰霊塔が建つ辻ヶ峯公園で、69年目の慰霊祭が行われました。また、津森小学校では、「いのちの日」学校集会が開催されました。両会場には、事故当時の同級生の方々、地域の代表の方々、日奈久小学校からは中村校長先生が参加されました。



献花をされる山内さん

慰霊祭では、黙祷の後、献花が行われました。愛知県から駆けつけたという山内則雄さん(81歳)。同行された夫人の話では、結婚当時、時寝ていると、「おーい、おーい」と寝言がよく叫んでおられたそうです。「自分は転覆して船の上でまたがって助けを求めていたが、目の前を級友や先生が流されていくのを見た」とのこと。そのときの思いが叫び声に繋がっていたのだらうとのことでした。両足の股には、船底の貝殻で切った

傷が、今でも残っているそうです。祭典後、全員津森小学校に移動し、集会に参加されました。集会では、同級生の方々から当時の話がありました。その一人の佐藤澄世さんは、「修学旅行の出発の日が雨の日でした。事故の時、地域の方が助けてくださり、ずぶ濡れで冷えた体を温めてくださった。たった今まで楽しく歌を歌っていたり笑ったりしていた友達と、あつという間に別れなければいけなかった」とあふれる思いで語られました。



辛かった思いを語る佐藤さん

話を聞いた津森小学校の子どもたちは、「友達がいるから遊んだり勉強できたりするので、友達を大切にしたい」と発表しました。中村校長先生は、「11月5日は、『たけのこ発表会』の代休でした。私は、日奈久小の子ども達が作った折り鶴を、津森に持って行くことと決めました。



日奈久小の子ども達の折り紙と折り鶴が供えられました

日奈久観光に貢献 橋本館長を表彰 八代商工会議所

10月27日、八代ホワイトパレスにおいて、八代商工会議所会員大会が開催され、日奈久ゆめ倉庫館長橋本裕二さんが表彰されました。



日奈久ゆめ倉庫館長として、地域に寄り添いながら日奈久地域の観光振興に貢献されたとして松本喜一八代商工会議所会頭から「地域貢献社員特別表彰」の盾が贈られました。

11月から日奈久温泉センターばんぺい湯 東湯管理支配人になりました武田 秀徳(47歳)です。頑張りますので、宜しくお願い致します。

外国人観光客の マナーについて

八代市では大型クルーズ船の誘致による八代市内の活性化を図っており、日奈久温泉にも観光地として多くの外国人観光客(主に中国人)が来訪しています。ところが中にはマナーのよい人ばかりでなく、「土足で上がった」「商品の中身を手で触っていく」「庭にゴミが捨てられた」などの声が聞こえています。これは、文化の違いによるものが多いようです。インターネットで調べるなどの対策が考えられますが、市の観光振興課(33・4115)に相談することができます。これを機会に私たちのマナーについても振り返る機会にしたいものです。



ミュージカルのフィナーレ

子どもたちの頑張る姿に感動！ 日奈久小・中学校で学習成果を発表

11月4日(日)に行われた日奈久小学校の「たけのこ発表会」は、子どもたちの笑顔にあふれた発表会となりました。1年生のかわいい劇から、6年生の力強い発表まで、各学年ともこれまでの学習の成果を元に、大変工夫されていました。子どもたちのいきいきとした表情に、参観された人は皆笑顔でした。講評で、中村道恵校長先生は、「みんなとてもよく頑張りました。とても感動しています。みんなの成長を見せてもらって、とてもうれしかったです。」と述べられました。その後、各会場に分かれて、親子ふれあい活動が行われました。どの会場も親子の歓声が聞かれました。また、11月11日(日)には、日奈久中学校の文化祭が開催されました。全校生徒数48人

(広告欄)